

消防防災部会 会議録

（出席者） 委 員：8 名
事 務 局：4 名（戦略部会員：3 名、政策推進課：1 名）
ア ド バ イ ザ ー：1 名
ファシリテーター：1 名

（会議の内容）

1. はじめに

資料 1 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議（第 2 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

2. 今後の会議の進め方と計画書への意見反映について

資料 2 に基づき、第 4 回まちづくり市民会議以降の検討の進め方について事務局から説明しました。

3. グループワーク

「消防防災分野の課題」をテーマに、2 グループに分かれて K J 法によるグループワークを行いました。

■メンバー

	グループ 1	グループ 2
委員	河合委員、石川委員、鈴木委員、渡會委員、 沓掛アドバイザー	清水委員、首藤委員、加治委員、佐治委員
事務局	岡本、鎌田（J P）	大羽、牧野

4. アドバイザー総括（沓掛アドバイザー）

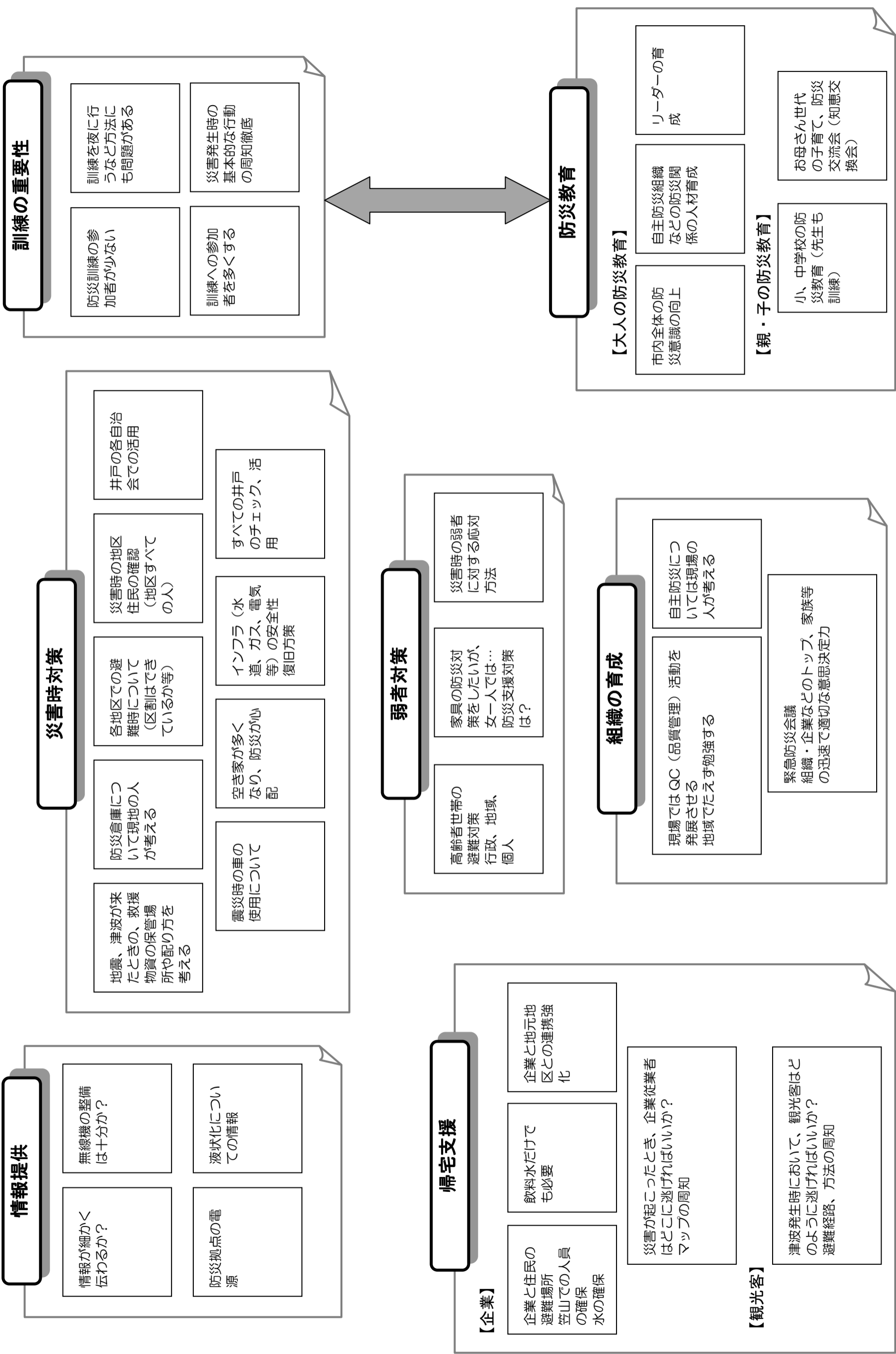
災害はそれぞれの地域で異なるため一般論では意味がない。住民が日頃からどうするか考え、話し合うことが大切である。

自然界では想像しないようなことが起こる。東日本大震災や予想されている東海地震のような大災害の前ではすべてに備えることはできない。

今日意見が出たように、日頃から地域の特性を把握し、コミュニティをつくることが大切である。

5. その他

次回開催日程は、5 月 14 日（木）19：00 からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後 1 週間を期限に、追加意見の提出をお願いしました。



情報提供

- 情報が細かく伝わるか?
- 無線機の整備は十分か?
- 防災拠点の電源
- 液状化についての情報
- 地震、津波が来たときの、救済物資の保管場所や配り方を考える
- 防災倉庫について現地の人々が考える
- 各地区での避難時について(区割はできているか等)
- 災害時の地区住民の確認(地区すべての人)
- 井戸の各自治会での活用

災害時対策

- 震災時の車の使用について
- 空き家が多くなり、防災が心配
- インフラ(水道、ガス、電気等)の安全性復旧方策
- すべての井戸のチェック、活用

弱者対策

- 高齢者世帯の避難対策(行政、地域、個人)
- 家具の防災対策をしたいが、一人では…防災支援対策は?
- 災害時の弱者に対する対応方法

組織の育成

- 現場ではQC(品質管理)活動を発展させる地域でたえず勉強する
- 自主防災については現場の人が考える
- 緊急防災会議(組織・企業などのトップ、家族等の迅速で適切な意思決定力)

帰宅支援

- 【企業】
 - 企業と住民の避難場所(笠山での人員の確保、水の確保)
 - 飲料水だけでも必要
 - 企業と地元地区との連携強化
- 災害が起こったとき、企業従業員はどこに逃げればいいのか? マップの周知
- 【観光客】
 - 津波発生時において、観光客はどのように逃げればいいのか? 避難経路、方法の周知

訓練の重要性

- 防災訓練の参加者が少ない
- 訓練を夜に行うなど方法にも問題がある
- 訓練への参加者を多くする
- 災害発生時の基本的な行動の周知徹底

防災教育

- 【大人の防災教育】
 - 市内全体の防災意識の向上
 - 自主防災組織などの防災関係の人材育成
 - リーダーの育成
- 【親子の防災教育】
 - 小、中学校の防災教育(先生も訓練)
 - お母さん世代の子育て、防災交流会(知恵交換会)

防災倉庫

地域の井戸を 使用できるよ うに資機材を 準備する	トイシをどう するか
防災倉庫と避 難所が遠い 避難場所に物 資を置いては どうか？	防災倉庫の内 容の見直し モデルをつく ってはどうか？

地域とのコミュニティ

消防団と地域 コミュニティ との連携	消防活動が大 規模災害では 初動ができな い (常備消防)	近くにどんな 職業の人がい るのか知る	高齢者や障が い者がどこに いるのか把握 し、対処する	災害発生直後 に災害情報を 伝達する方法 はあるか
初期消火をど つするのにか	災害時の要介 護者の救助	減災にもっと 努める	各校区によっ て防災マップ は異なるはず	災害時の情報 伝達の徹底

避難について

災害が起きた らまず逃げる 市の意識をど うするか	各学校の避難 訓練の状況 は？	電柱に海抜を 記した看板を 見たが、もっと 多く設置する	海抜0m地域 の防災をどう するか	高台をつくっ てはどうか
自分がケガし ないことで、自 助、共助、公助 を果たす	活動中に二次 災害から逃げ るタイミング が分かりづら い	自分のまちは 自分で知る事 が大切	予想される津 波の高さが20 mに上げられ たが、対策はど うなのか？	小中山地域は 海抜0m 避難所をつく って欲しい

防災体制

災害時の道路 状況では現場 に向かえない	仕事時以外で の発災では本 部に駆けつけ るまで時間が かかる	石油コンビナ ートは大規模 地震に対応で きるのか不安	地震発生後すぐ逃げなければな らないが、家屋の下敷きになった 人はどうするの？
半島が長いの で救急体制に 時間がかかる	水門の管理が 災害時に心配 である	古地図より理 立された地域 を知る	市役所への道 路をどうする か(橋の崩落も ありうる)